增産へのラジオ
職場のために戰ふ
…工員はどんな放送を望んでゐるか…

戰ふ力を生みだすためにラジオ放送も、そのとくべつの機能を最大限に発揮して増産の一翼をになつて挺身してゐる。したがつて毎日の放送は、産業戦士を対象としての番組が大部分に編成されてゐる。昨年十一月一日から早朝五時三十分、出勤前や就業前の産業戦士

野良に出る前の農村の人人にむくやうに、ごく平易な言葉で報道を伝へ、その後で各方面の名士による激励の言葉、各職場を通して産業戦士、挺身隊の体験談などが放送されてゐる。引きつづいて、さわやかな朝の気分を醸すべく小鳥の囀りや、明るく軽い音楽をも送つてゐるのである。午前十一時四十五分からは昼の休憩を前にして、ラジオ体操を放送し食事をしたためながら正午の報道を聴き

零時二十分よりの音楽演奏に昼休みの一時を楽しく過すのである。昼の慰安放送はこの主旨からつとめて工場内からの中継放送がされ、ただ耳で聴くだけでなく目でも見ながら楽しんで貰ふやう心がけてゐる。この間、ある工場の昼間演奏に中継放送をしたをりのことである。放送の前間放送が終ると、この時間を待つてゐたとばかり万雷のやうな拍手が湧き起つて出演者たちを感激のただなかに立てるのだつた。

産業戦士たちの深い感銘の後をつづけるやうに所長がつかつかと御み出て「今日の素晴な時間に対し拍手を以て感謝の意を表したい」と音頭をとると、さらに新たな感激を乗せた拍手がつづいた。「また来て呉れ」「今日は有難う！」「御苦労さんでした！」飾りのない言葉が乱れ飛ぶうちにも「浪花節もいゝが歌謡曲もいい。

耳なれた歌だが、あゝいふ風に本式にうたつてもらへると歌もいゝなあ」と年老いた工員たちも語り合つてゐたが、かういふ昼間放送がその日からの作業にどんな力を与へるか。このころ名古屋中央放送局では愛知県下の重要工場の放送聴取状態を調査したところラジオの聴取のない工場はもちろん絶無であるが、工場内では報道を毎回ほとんど聴取させ、ことに大本営発表のものはすぐに全工場全工員に通達されてゐる。

早朝（五時三十分）の放送は農生活者が一番聴取が多く、報道では夜間七時と九時が利用されてゐる。また放送内容の希望投書の数も大部分が産業戦士によつて占められてゐるのも生産とラジオの密接な結びつきが感ぜられる。

なほ受信機の入手困難の折放送局としては出来得る限り産業戦士のための需要に応ずるやう考慮してゐる。（名古屋中央放送局放送部副部長宮川三雄氏談）

工員の聲
國民合唱を夜間も

放送内容の希望、意見には「徒らに騒々しい音楽や演説はやめて貰ひたい」「午後九時過ぎにも一つ演芸をやつて欲しい」「毎日のラジオ体操はすべて音楽で事足りると思ふ」「時局はたいへん嚴しい」「外國かぶれの歌はやめて日本音楽を望む」「國民合唱を夜間にも願ふ」「軽快な音楽の音盤を常に望む」「浪曲は國民の士気昂揚の内容のものを望む」「出来得る限り地方の出来事も放送して欲しい」などすべて真面目な投書ばかりである

藝能いくさ
涙もろい私
歌手 東洋子

私はとても涙もろいのです。みんなに「歌謡家」だと笑はれます。性格によりますかせうか。「女」は涙があればこそ強いのではないのでせうか。最近「浜辺の歌」とか「荒城の月」などを唄ふのですが、唄ひつゝ泣いてしまふのです。私が涙といふものがほんたうに強いものだと思つたのは一年前はじめて工場へ慰問に行つた時でした。無伴奏で「出船の歌」を唄つたせゐでもあるのでせうか、ドツと笑はれてしまひました。それでも必死になつて唄つてゐると、眼の前に日本の船舶兵の姿が浮んできました。唄つてしまつたとき、それでもはげしく拍手をいただきました。その時以来私は「涙」をはづかしいとは思はなくなりました。

歌にみる決戰調
この戰ひ・どこまでも
宣候(ヨウソロウ)で行かう

数をたのんで懲りずに来たか
来たかようそろ敵の艦
魚雷爆弾腹のなかに抱いて
海の鷲がなぐりこみ、ようそろようそろなぐりこみ

これは牧房雄作詞、海軍々楽隊作曲の新民謡「宣候節」（ヨウソロブシ）の一節で日蓄の音盤となつて六月中旬に発売される予定です。「ようそろう」は海軍用語で操舵號令の一つ「只今艦の指向する針路を保ちて直航せよ」といふ意味で艦艇や飛行機で用ひる、宣候節はこの用語の意味と字義のまゝの「宣しく候」の意味を含めて作られた歌です。だから「大東亜戦争完遂へ一路驀進」「ようそろう」といつた一億総進軍の気持を歌つたものです。まことこの「宣候」の二字こそ我々の日常の信念と心構へを巧にしかも余裕たつぷりに表現した良い言葉ではありませんか

歌詞（五節）も軽く、職場の歌としても「完勝の歌」「[illegible]」以上に時局を引きつけることでせう。これを愛唱し「増産」と叫べば「宣候」と答へる増産の合言葉として一層がん張るならば殉職された古賀元帥の英霊もきつと喜んで下さることでせう。

勤勞女性
各國の數字を見る

婦人も職場へ！どこの國も女子の勞務を多大に要求し、しかも多くの婦人は生産にたづさはつてゐるが、各國の現況をみよう。

☆

ドイツの國民勞務申告令によると

一、四十歳以上の婦人
一、六歳以下の幼児を持つ婦人
一、就學年齡の子供を二人以上持つ婦人

は申告義務を免れてゐる。だから、ほとんど働きに出てゐる婦人は家庭もあり、子供もあるのである。

☆

アメリカは昨年あたり飛行機工場で新しく雇ひいれられる勞務者の七〇パーセントから八〇パーセントは婦人であるといはれる。一九四三年の婦人勞務者の総数が一千七百万余といはれ、その三年前の一九四〇年の七月とくらべたら六百万の増加だといふ。

☆

イギリスは七百三十万人が動員され、そのうち十八歳から四十歳までは五百七十万、四十歳から六十歳までは六十万だといふ

☆

濠洲は十八歳から三十一歳までの未婚婦人は昨年の春徴用が行はれいまは四十歳位の独身婦人も動員されてゐるらしい。そのうち看護婦が三万、軍需工場は十三万といふ進出である。

☆

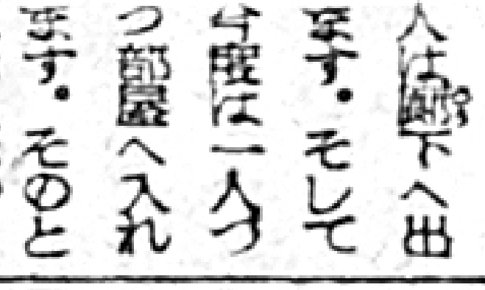
カナダは全軍需工場の十五パーセントは婦人で航空機工場の三分の一は婦人だといふ。

☆

ソ聯は工場方面で婦人が一千八百万、農村方面で三千万人は働いてゐるといふから、その婦人の働きだす力は相當大きく評價されてよい。

工場遊戲
演説會

「議員さんを決めます」といつて、大勢のうちから、五名位を何かの方法によつて決めます。決められた五人は廊下へ出ます。そして今度は一人づつ部屋へ入れます。そのとき部屋にゐたものが演題を提示します。提示された演題によつて議員さんは演説するのです。議員さんは必ずその題によらなくてはいけません。この五人の議員の當選は聴衆の採點もよく、會監先生の決定にまつてもよろしい。演題はなるべく候補者と縁の遠いものがよく、若い青年達なら「育兒法について」「家庭経濟について」女子の場合は「酒について」「お灸の効果について」なども面白である。

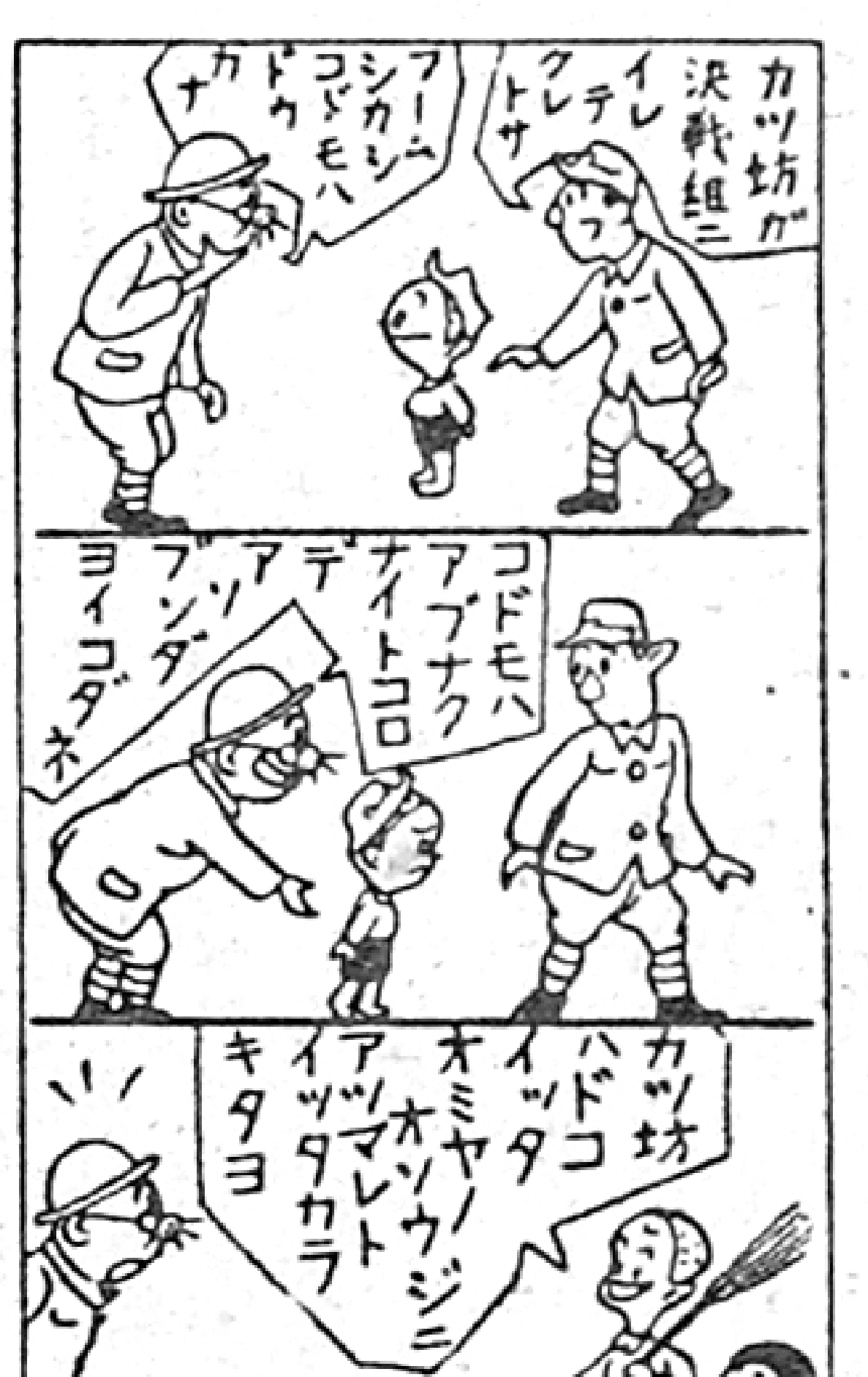


生產娛樂
指人形
洋畫家北川民次さんをたづねて

家庭の中に、工場の寮に娯楽を持ちお互に笑ひ考へ啓発しあつていつたらどんなに強い明日の力が生れるだらう。これを隣組へ、職場へ移したら——

瀬戸市居住二科會々員北川民次畫伯はその古い實踐者だ。二十年前メキシコに美術學校を持つてゐた時美術に無智な土人を啓発する意味で最も簡單な演劇形態である〝指操り人形〟を作り自作上演して大いに効果を收めた。今でも北川氏の移動演劇袋の中には〝[illegible]〟である よく働くお百姓さん、おどけた皮肉屋の爺さん、眞黒な顔をした惡魔が一緒に住んでをり時々取出されて家庭や隣組で一幕演ずる。三本の指で一つの人形があやつられ、その不自由な姿態の中から自然なをかしさと笑ひが飛び出す。人形が机か何かで設けた小さな舞台の上に現れただけで観衆は和やかさに包まれてしまふ。その上直接いへば強く響くことも舞台を借りて人形の話にすれば観衆に素直に傳へることができるのだ。人形にはこのほか〝糸操り〟もあるが職場で活用されるには最も簡單に製作され演出される〝指操り人形〟が普及されたら人形の現れるところ必ず笑ひがあり啓発も指導も笑ひの中に遂行されるに違ひない。人形の作り方は木片の上に新聞紙を水で溶かしドロドロになつたものに糊をまぜたのを盛つてゆき頭と手を作り不要な部分は削り顔を描く。頭は首の部分に人差し指の入る穴をあけ衣裳は手がスッポリと入るやう七、八寸の丈で前身も後身も同じでよい。丁型にゆつたり作り縫ひ合せればモウ立派な微笑ましい人形が生れる。

レンサイマンガ 決戰組
麻生豊


カツ坊ガ決戰組ニイレテクレトサ
フーム シカシコドモハドウカナ
コドモハアブナクナイトコロデアソブンダ ヨイコダネ
カツ坊ハドコイツタ
オミヤノオソウジニアツマレトイツタカラキタヨ
オーイカツ坊
ワルカッタ ゼヒハイッテクレヨウ

南方便信
ジヤカルタの敵性町名改る

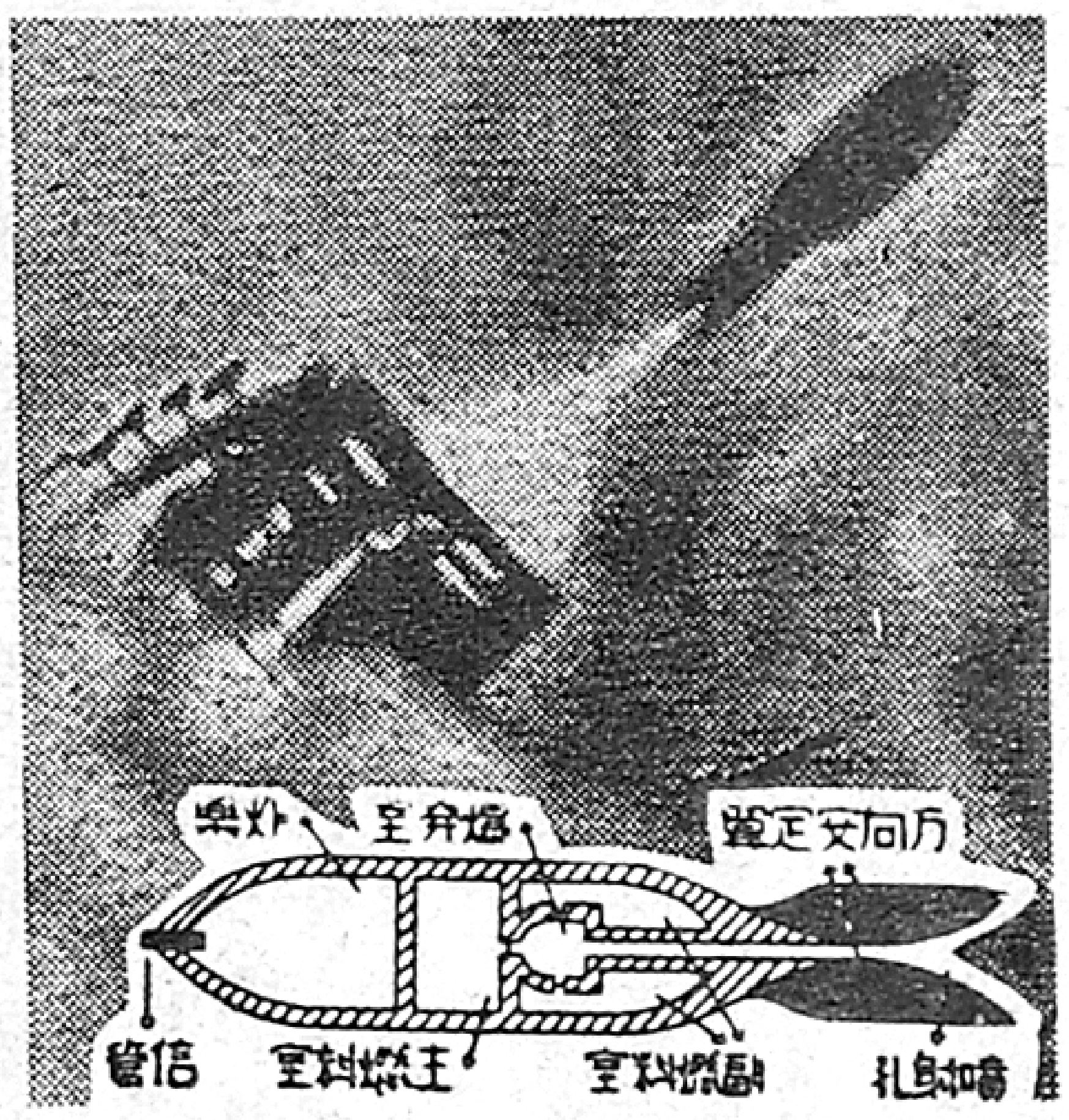
ジヤカルタ特別市内の敵性町名改正が四月廿九日天長の佳節を期して公布された「カンピル廣場」が「大和廣場」「ノールドウエイク」が「大[illegible]」「ハルモニー」が「大和橋東通り」「モーレンフリーウエスト」が「都通り」「ライス ウエイク」が「錦通り」「ウイレムスラーン」が「軍政通り」となる

新刊書評
布引丸
木村毅著

四十年前の比律賓獨立戰爭に、川上操六參謀長、原禎大尉、民間志士宮崎滔天、岡山周蔵が一片の誠心、三尺の剣、之を救援した始末を「布引丸」事件を中心にして、歴史小説としたもので著者がバタアン戰爭に從軍中マニラの諸文庫に當時の材料を探り、極めて面白く新事實を満載す。（報國文庫出版株式會社發行、定價二円五十錢）

軍事講座
偉力ロケット砲
五十里飛ぶ獨の彈丸

二百粁の向うまで巨きな彈丸を飛ばすといふドイツ軍のロケット砲がドーヴァー海峡を越えてイギリス本土を砲撃した瞬間の珍しい寫眞が公開されたが改めてロケット砲とはどんなものか話してみよう。ロケット砲といつても、そのものには大した仕掛があるわけではない。だいたい彈丸といふものは自分の力で飛んでいく力があるのだからこれに發射方向と適當な角度をあたへるカタパルトと稱ばれた照準裝置を結びつけたやうなものと考へればよい。もつともロケット砲彈が飛び出していくときには後の方にもの凄い噴力をあたへるから、之に耐へるだけの鎧ひのやうなものは必要なのである。ロケット砲の彈丸も炸藥や信管の部分は普通のものと同じであるが、略圖のやうに液体酸素とかガソリンとかいつた爆發燃料を收容する室を持つてゐる。これを爆發燃燒室で適當に混合爆發させ、その爆壓を後部の噴射孔から勢ひよく噴き出す反動で前方へ飛んでいけるのである。こんな具合で原理は簡單であるが、燃料の貯藏處理やその調整などはとても難しくドイツ軍の誇るロケット砲彈がこれをどう解決してゐるかは勿論一般に明かにされてはゐない。

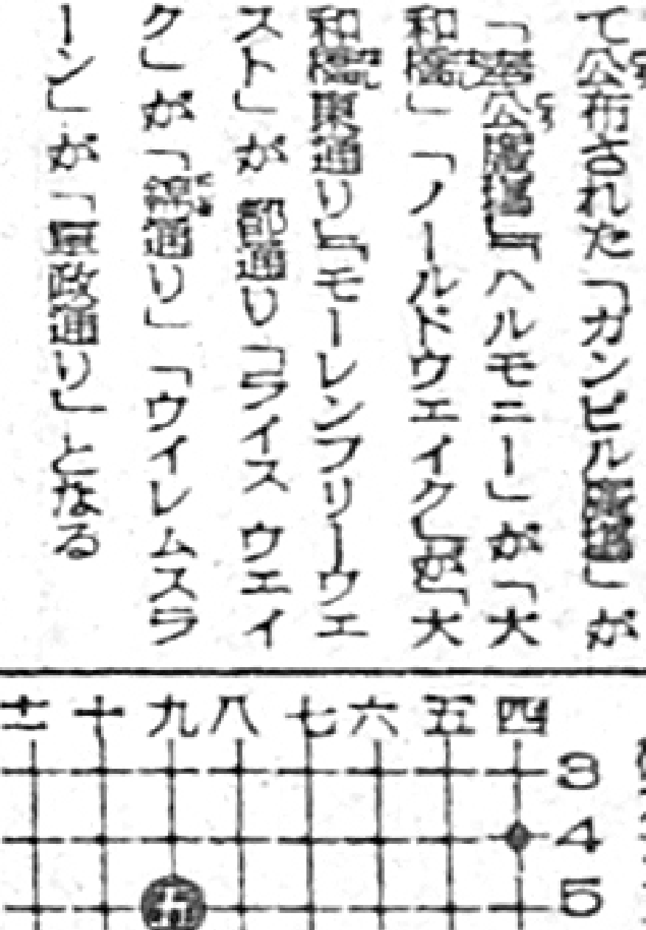


圍碁 五六七段 選拔聯珠戰
第九局 第一譜
七段 中村 玉秀
先番 七段 深井 一瓩

觀戰評 名人 高木 樂山

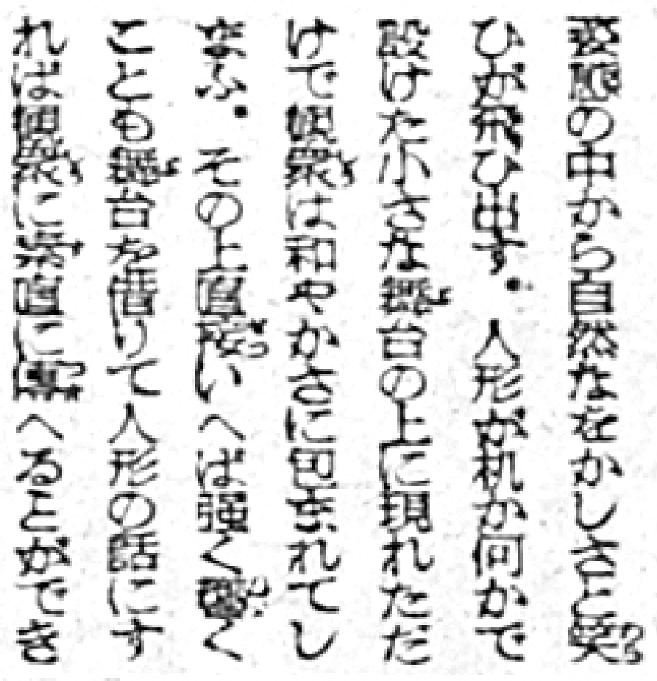
本局は、例によつて先番握り定めで深井七段の先番となつた。中村七段と深井七段は同年配だが深井氏の方が稍先輩である。面白いことは、中村氏は平瀬越門の御大、深井氏は鈴木門の御大だつたことだ。今は両氏とも棋院にゐられ、熱心な地方普及家なのである。

さて中村七段の黒三と指定して白四と肩に接觸を作つたのは（い）か（ろ）の點に打つのと共に、この黒三に對する三大強手とされてゐる。黒五は規定により先手が（は）の點と共に二ケ所選んだのを後手がかく打たせたものである。



（黒五まで）

將棋
第八譜
平手 五段 △奥野 基芳
先 四段 ▲吉田 六彦



圖は前譜三一角まで
▲七七銀 △四二角 ▲七九角
△三二玉 ▲六八角 △二二玉
▲七九玉 △七五歩 （指手六十手）
消費時間 △三時間二十六分 ▲一時間十九分

解說 七段 大和久彪

吉田氏の四七金から三七桂としたた運びは大いに疑問といはねばならぬ。なぜなれば既に五五歩と打ち六六歩とする陣組みは五筋の位に満足せる持久戦の方針であり、この四七金、三七桂の構へは攻撃を主とする相反した陣組みだからである。

この相反した陣組みの不備は本日の譜に明瞭に表はれてゐる。兩氏の玉の堅陣では奥野氏が二手早く囲ひを完了してゐる。堅固な陣組み終るや奥野氏は素早く七五歩の挑戰である。

訂正・昨六日「藝能いくさ」の長松博士は長松英一氏が正しきにつき訂正す

戰友記
尾崎士郎
古田十郎畫
【67】

武勳（一）

爆音と、爆發するプロペラの響と、立ちのぼる砂埃りの中に、空の行手を劃るマリベレスの峰が彼の視野から消え失せた。

その日の出動部隊は二十一機である。爆音が大空に遠ざかつていつたと思ふと、飛行機がすぐ眞下に見えた。飛行機は巧みな旋廻を終へて、音もなく空に舞ひあがつたのである。

横にゐた若い操縦助手が、赤堀小助の手にほそいゴム管をわたした。手眞似でそいつを口にくはへろといふのである。

ほそい響が一里ほど先から、風のやうに流れてきた。それが次第に耳元に迫つて、こんどは鼓膜をやぶるやうな大きな響になつた。眼をあくと、嶋内中尉の顔が不安さうに覗きこんでゐる。

飛行機の上ではないらしい。一瞬間、どきつとして、赤堀小助は眼を瞑つた。「一体、何處です。此處は？」

「クラク フィールドの宿舎ですよ、でも、よかつた、無事に助かつて」

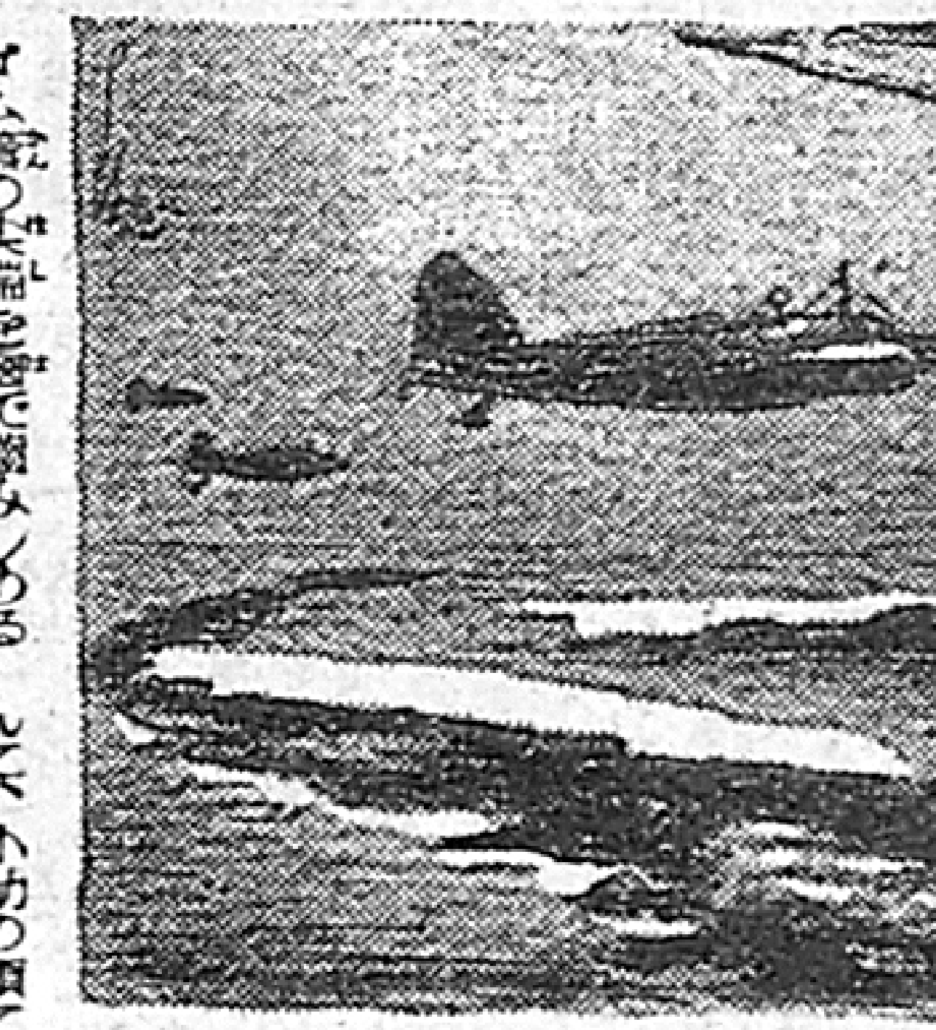
「何かあつたんですか」

「やつと氣がつきましたね、あなたは飛行機の上で窒息したんですよ」

「えつ、僕が？」

「さつきまでは、もう駄目だと思ひましたが、よかつた、よかつた」

夕方の光線が硝子戸の上でゆれてゐる。とたんに、小助の頭にあたらしい記憶が蘇つてきた。



ゴム管の尖端を歯で噛みしめると、冷たい風が内臓に沁みひろがつて、今にも息が詰りさうになる。

左右には朝の陽ざしに銀翼を輝かして爆撃機が隊列を組んでゐる。やがてマニラの街が見え、海の色がキラキラと眠りの足らぬ眼に映つた。全身が氷りつくやうに寒い。ゴム管をときどきはづしてみたり、またくはへてみたりしてゐるうちに意識がぼうつとうすれてきた。

全身が、がたがたと顫へだす。兩足を踏んばつてカ一ぱい上体を支へてみたが、すぐふらふらと前へのめりかゝる。——ときどき爆音がうつつの中で、高射砲らしい響が下の方から聞えてきたが、それきりで何も彼も見えなくなつてしまつた。

「どうです——氣分は？」

勤勞俳壇
加藤霞村選

—行春—

大成兵器 小林 元一
栗の香を嗅ぎつゝ春を惜みけり

旭兵器 野田 矢郎
行く春や机の上のチューリップ

川崎航空 吉川 碧村
國分寺池をめぐりて春惜む

日本車輌 久保田秀夫
大いなる月の暈あり春惜む

川崎航空 林 [illegible]
職場よりみゆる伊吹や春惜む

東海鋼鐵 荻本明子
手鏡に庭をうつして春惜む

日本油脂 齋藤緋紗子
石蓼の犬を飼ひゐる寮母かな

名古屋海運局 丹下 節子
散り果てし櫻のもとに春惜む

大江航空 入谷 [illegible]
櫻樹の道歩きつゝ春惜む

日本車輌 久保田秀夫
合宿の寮にも馴れて春の暮